

事業費管理のポイント（外部委員からのご意見）

- ◎ 対象事業に（増額後の）事業費に見合った効果があるかどうかを整理（ポイント①）し、事業の実施・継続について、休止・中止を含めて判断をすることがリスク管理。
（判断は、事業の実施がミッションの所管局では出来ないので、トップマネジメントが必要）

- ◎ そういう意味で、計画の進捗や状況の変化に応じて、適宜、事業費および事業費に影響を与えるリスクを検証することが必要。その際は下記に留意すること
 - ・ 検証手法として、過去の実績や他事業から得られる増額内容等を把握し、事業のリスクを言語化・共有化することにより管理（項目の洗出し・評価＋モニタリング）していくこと（ポイント②）
 - ・ 検証体制として、まず事業内容を直接把握する事業主体において、内部管理体制を構築すること。また、タイミングとして、事業着手前にすべてのリスクを把握しておくことが理想であるが現実には困難であるので、計画が具体化した際や、その後も、すくなくとも年に1回は、計画（予算）と実績（決算）との乖離を検証し、見直しすること。（ポイント③）
 - ・ 検証結果については、市内部での報告や市民等へ丁寧に説明するとともに、顕在化する可能性が高い増額リスクについては事業費に盛込んでいくことが重要（ポイント④）